

昨年から日本を代表する盆栽家小林國雄先生の教室に通っています。

盆栽は世界中で大人気！先生の所に住み込みで学んでいる生徒も8割が外国人です。先生の所有する「春花園」という盆栽ミュージアムはインバウンドが訪れたい東京のベスト10に入っています。先生は毎月海外へデモンストレーションに出かけるなど、驚くほどインターナショナルな世界なのです。

今年4月に初めてThis is Bonsaiという品格のある小ぶりの黒松を購入しました。それを「マツコスーパーデラックス」と名付けて手入れをしています。「植物は愛情に反応する」とよく耳にしましたが、盆栽を始めて、この事を実感しました。

マツコを購入するまで、練習用として育てていた長寿梅が、マツコが来てしばらくすると全く元気がなくなりました。マツコばかりに「素敵、素敵」と声をかけ、可愛がった事に拗ねてしまったのです。慌てて、「梅子」と呼んでも後のまつり…：ゴールデンウィーク明けに元気のない梅子を先生の所に連れて行くのと、「あつ、これは完全にダメですね」という答え、何と梅子は憤死してしまったのです。もうビックリ！ごめんね、梅子。大反省…

世界に通用する日本のコンテンツ、Bonsai(盆栽)

文 朝倉匠子 text by Shoko Asakura



黒松盆栽「マツコ スーパーデラックス」

形が作れず、評価の低かった黒松盆栽は新芽を切って、2番芽を残すという「芽切り」＝「短葉法」の導入によって、現在の地位を得たのです。樹齢80年のマツコ、これから私の手によってどんな風に変化していくのでしょうか。盆栽というとお年寄りの趣味というイメージですが、先生のところに何うとこれぞ「クルジャパン」、世界に通用する日本のコンテンツだと痛感します。

6月下旬は黒松の「芽切り」という作業をする時期です。私も初めてこの作業に取り組みました。かつて葉が長いため綺麗な



「35歳からのダイエット革命」(Discover21)
定価1,404円(税込)
好評発売中



Profile

広島生まれ東京育ち。青山学院文学部英米文学科卒業。学生時代よりコマーシャルモデルとして活躍、その後テレビ司会者や経済インタビューとして活躍し、渡米。10年間メディア活動を休止。その間カリフォルニア大学で「NPOマネジメント」及び「ジェロントロジー(加齢学)」を学び、「エイジング・スペシャリスト」として再びメディア活動に復帰。「能動的・精神的・美的加齢法」をベースに医療や心理学、社会学等最先端情報と連携しながら、多くの方々と共に年齢を積み重ねることの楽しさ、自信、そして若々しさ、美しさを育てる「アクティブ・エイジング」を提唱する活動を行っている。現在、NPO法人アンチエイジングネットワーク理事、日本抗加齢医学会正会員などで活躍中。